

森將軍塚古墳(千曲市)

正面の森大穴山の山頂に何かが見える/左手の建物は森將軍塚古墳館



これが森將軍塚古墳



山頂までバスで登ることにする



前方が森將軍塚古墳



記念碑が立っている



さて、いよいよ古墳の調査に入ろう



説明板をじっくりと読む





史跡 森將軍塚古墳

所在地 茨城県水戸市... 古墳群の中心に位置する...



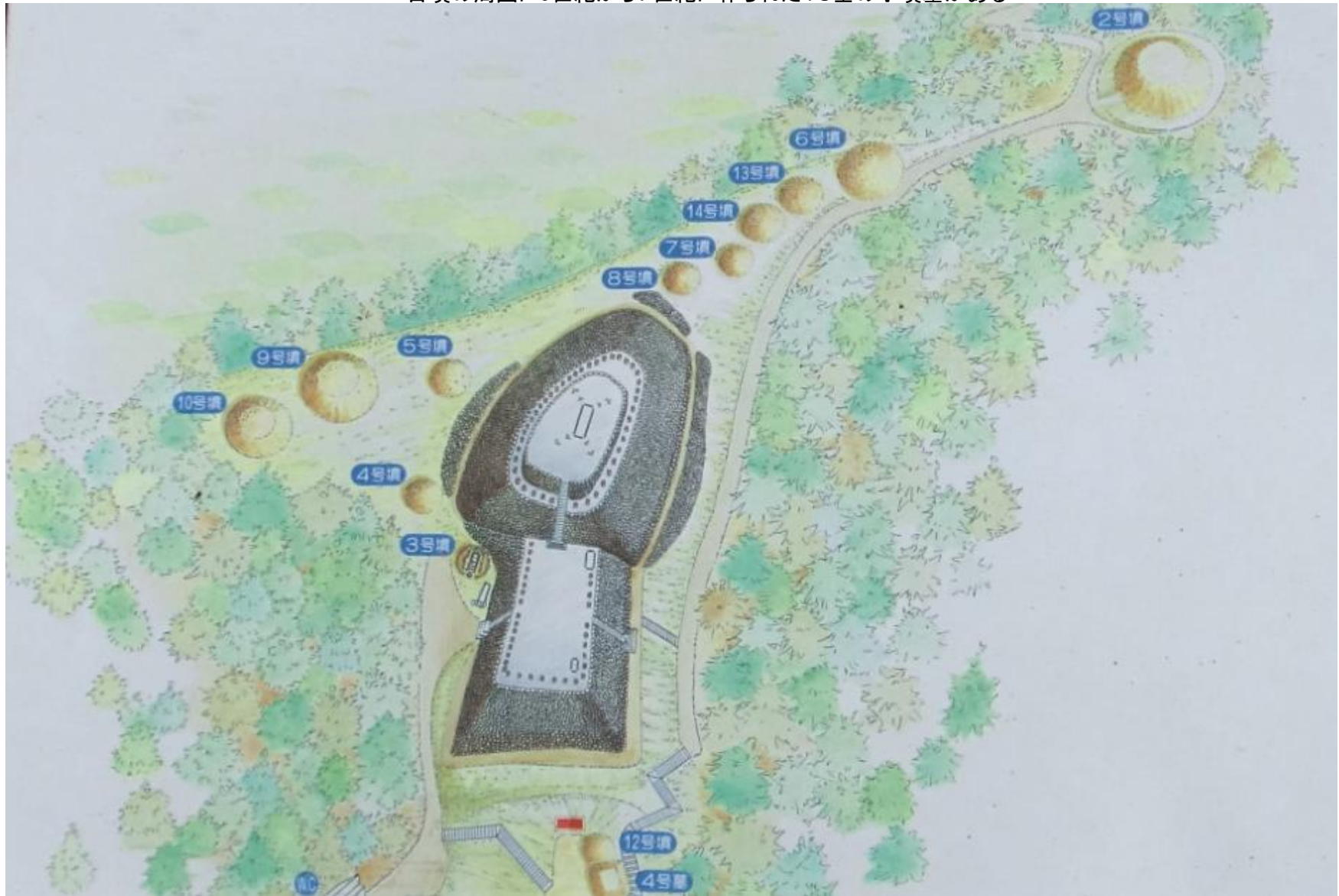
この古墳は、古墳群の中心に位置する。墳形は前方後円形であり、墳丘の周囲には石段が築かれている。また、墳丘の内部には石室が設けられていると推定されている。



この古墳は、古墳群の中心に位置する。墳形は前方後円形であり、墳丘の周囲には石段が築かれている。また、墳丘の内部には石室が設けられていると推定されている。



古墳の周囲に5世紀から7世紀に作られた13基の小墳墓がある



王がおさめた善光寺平を一望にできるこの狭い尾根の上に築かれたので前方部と後円部が折れまがった形となったという

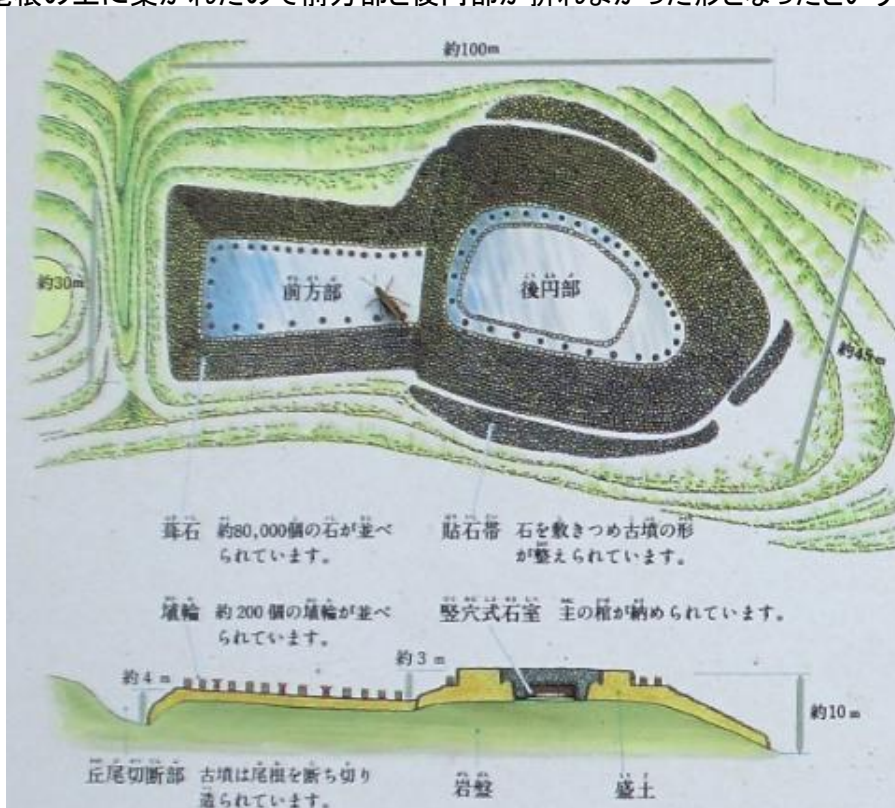
前方後円墳に代表される古墳は、4世紀にはいるころ近畿地方の有力者たち(大和王権)によって築かれはじめたと考えられています。

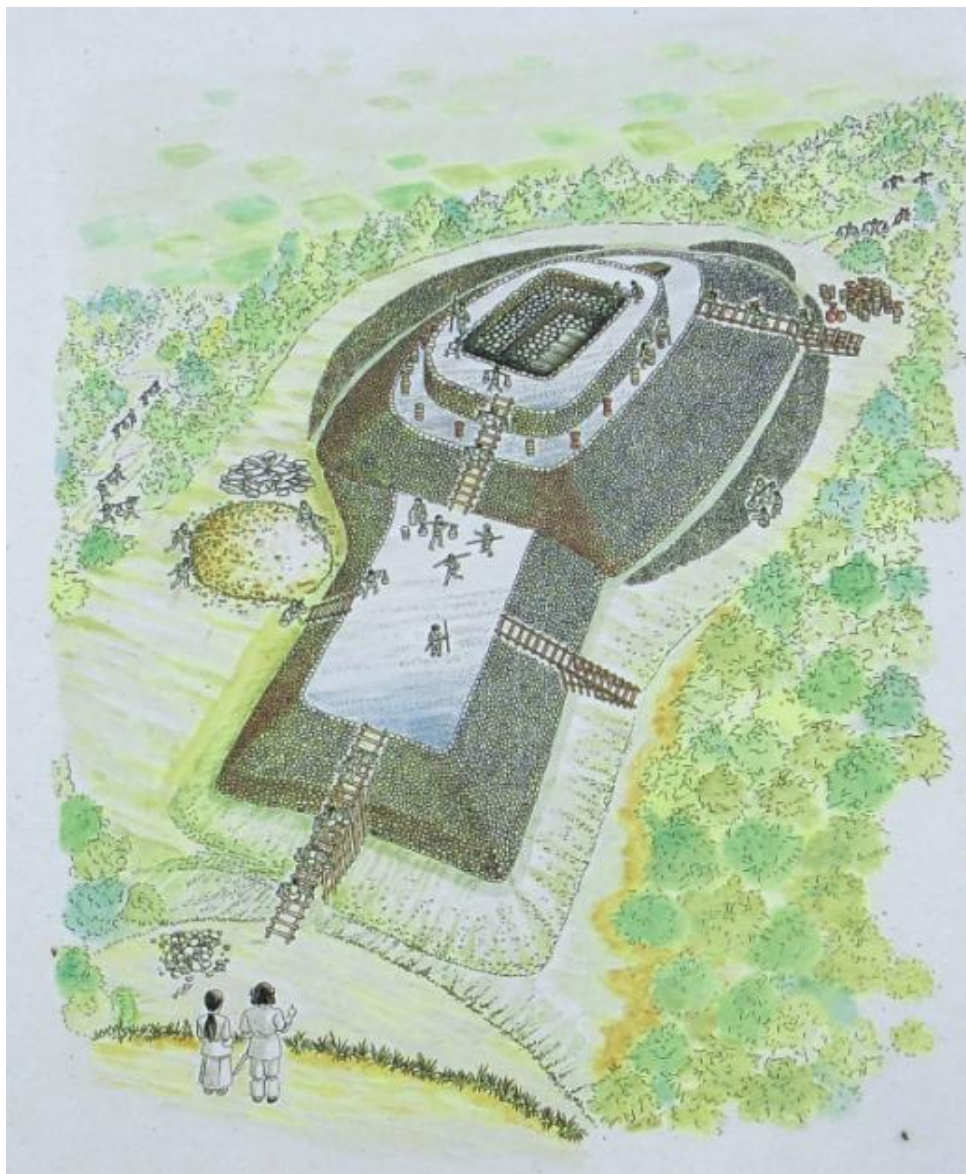
古墳の形や大きさは、大和王権と各地の有力者たちとの関係の深さと力の大きさなどによって決まるといわれています。

長野県下で最初の、そして最大の前方後円墳である森將軍塚古墳は、“科野のクニ”最初の王者のお墓といってもよいでしょう。

古墳は、主がおさめた善光寺平を一望にできるこの狭い尾根の上に、築かれたので折れまがった形となったと考えられています。

また尾根を削ったり、土を盛り形を整え、表面にはこの山から集めた石英斑岩を葺き並べています。





古墳築造 すべて人の力で築かれました。
(1日約100人で約550日)



発掘調査 形や大きさなどを確かめる調査が
おこなわれました。
(1日約20人で約500日)



復原工事 クレーンやトラックなどの機械が
使われました。
(1日約10人で約300日)

4世紀代築造の前方後円墳/手前が前方部



右手が4号墳、左手は12号墳



手前が4号墳、右手後方は12号墳



壺形・円筒・朝顔形・合子・家型の埴輪が復元され並んでいる



前方部





見学用に階段が設けられている



4号埴輪棺



はに 埴輪

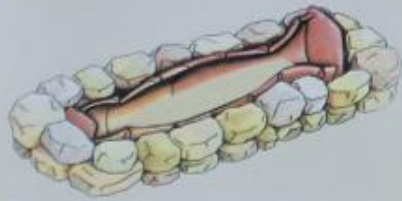
森將軍塚古墳には、壺の形、壺をのせる台から変化した円筒形、壺と台を組み合わせた朝顔形、家形などの儀礼的なものを型どった埴輪が、たくさん立て並べられていました。

後に、こうした埴輪を棺に再利用した埴輪棺が造られ、4号埴輪棺の付近を中心に12基みついています。組合式箱形石棺などと共に5世紀代に造られた、小さなお墓のひとつです。

埴輪棺の位置



4号埴輪棺



森將軍塚古墳
の埴輪



森將軍塚古墳の裾や前方部頂上には埴輪をお棺に利用したものが12基、組合式箱型石棺が40基あるという



正面は後円部



階段の向こうは前方部







前方部から後円部を見る/右下の石ブロックで区画された部分は2号石室のあった位置を示す



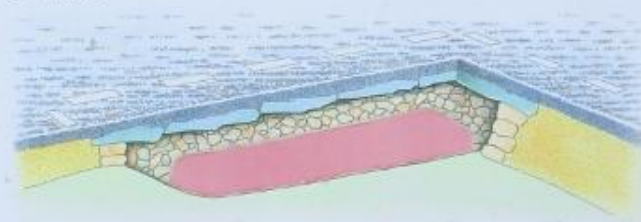
ぜんぼうぶ 前方部

前方部は、古墳の主が眠る後円部にいたる通路あるいは、儀式の場所ではないかと考えられています。
 蘇将軍塚古墳の前方部は、後円部と同様に千曲川から運びあげられた玉砂利が敷き詰められ、埴輪が立て並べられた広いものです。
 後には、竪穴式石室2基をはじめ、組合式箱形石棺や埴輪棺などの埋葬施設が設けられています。

2号埴輪棺 円筒・梨形・壺形埴輪などが使われています。



3号石室



配石遺構 こぶし大の石を長さ5.5m、幅2.2mの長方形に並べた施設です。



2号石室 石室は、西側壁を残し壊されています。副葬品はみつかりません。



副葬品には、銅・管玉・ガラス小玉がみつかりました。



2号埴輪棺 円筒・朝顔形・壺形埴輪などが使われています。



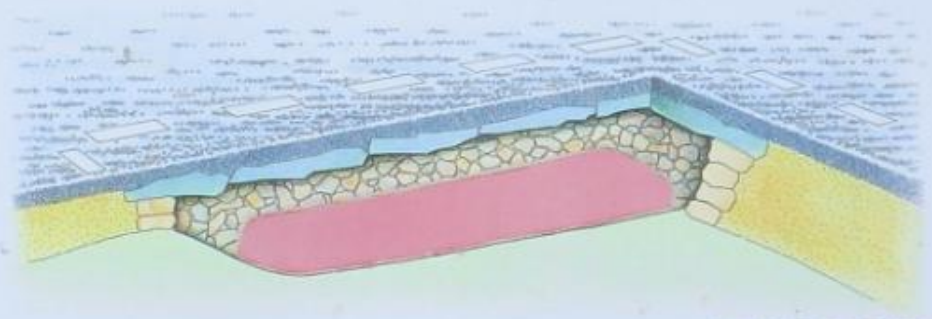
配石遺構 こぶし大の石を長さ5.5m、幅2.2mの長方形に並べた施設です。



2号石室 石室は、西側壁を残し壊されています。副葬品はみつかりません。



3号石室



副葬品には、剣・管玉・ガラス小玉がみつかりました。

2号埴輪棺
3号石室
配石遺構
2号石室

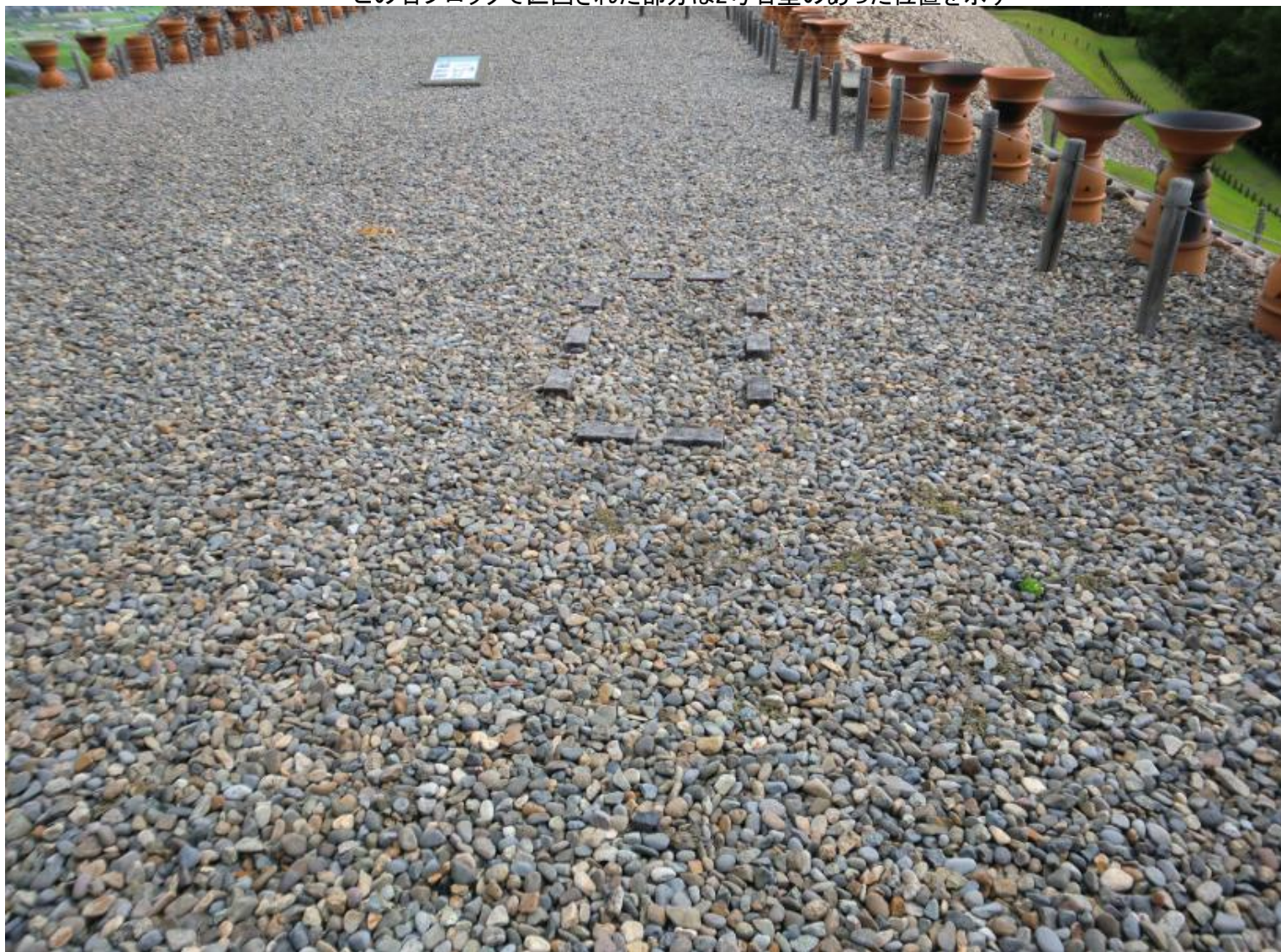
左手の石ブロックで区画された部分は2号石室のあった位置を示す



左手の石ブロックで区画された部分は2号石室のあった位置を示す



この石ブロックで区画された部分は2号石室のあった位置を示す



左手の石ブロックで区画された部分は2号石室のあった位置を示す



この石ブロックで区画された部分は2号石室のあった位置を示す





右手の杭が内側に入り込んで区画された部分は3号石室のあった位置を示す



後円部に立つ



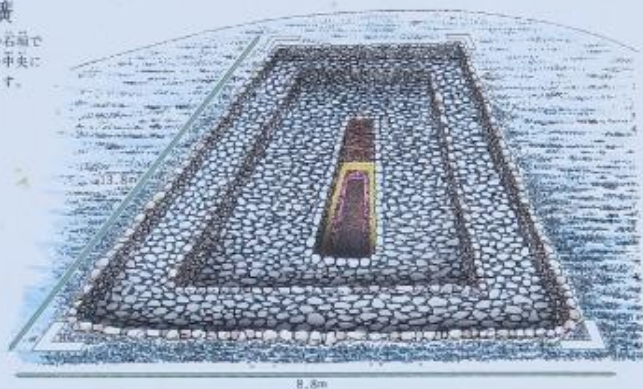
こう えん ぶ 後円部

一段と高い後円部には、長大な竪穴式石室が設けられ、森將軍塚古墳の主が埋葬されていました。石室は特に大形で、その床面積は日本最大と推測されています。

副葬品には、鏡や劔・刀、勾玉・管玉などがみつかります。三角縁神獸鏡は、大和王権と特に関係が深かった有力者に限って、持ったといわれています。主は、どんな人物だったのでしょうか。

二段墓城

石室は、二重の石箱で囲まれた墓域の中央に設けられています。



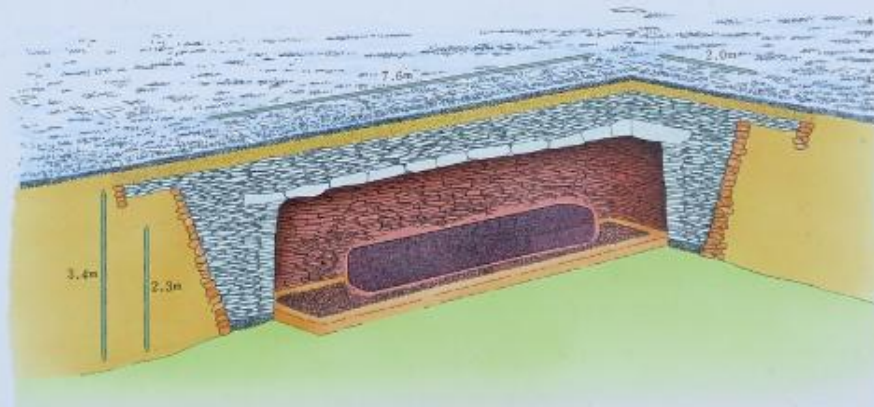
副葬品

青銅製の「三角縁神獸鏡」は、長野県下では唯一のものです。南蛮製の勾玉・管玉製の管玉



竪穴式石室

石室の縁石の板状の石を小口積みして築かれています。



この石ブロックで区画された部分は竪穴式石室のあった位置を示す



この石ブロックは二重の石垣のコーナーを示す



二重の石垣のコーナーを示す石ブロックの向こうは竪穴式石室のあった位置を示す石ブロック



竖穴式石室のあった位置を示す石ブロック



科野のクニ

平南川沿岸の自然環境と後背湿地は、
 稲作が始まる古土時代になると、たくまろ
 のみりができ、魚が富まれました。

平野で、この地帯を中心に政治的なまと
 まりができました。"科野のクニ"と呼
 ばれているものです。

代々の有力者たちは、長い平野などを
 治世に大柄な高い御塔を結び、巨大な
 南宮後内墳を一つつぎに築きました。



自然環境と後背湿地

奈良時代初期の平野には、農地と沼澤を繰り返
 していましたが、その後の水灌漑の普及により、
 稲作が盛んになり、豊かな自然環境が形成され
 ました。この自然環境が、科野のクニの発展に
 大きな役割を果たしました。

左岸

- 1 藤原寺遺跡
- 2 藤原寺遺跡
- 3 藤原寺遺跡
- 4 藤原寺遺跡
- 5 藤原寺遺跡
- 6 藤原寺遺跡
- 7 藤原寺遺跡
- 8 藤原寺遺跡
- 9 藤原寺遺跡
- 10 藤原寺遺跡

右岸

- 1 藤原寺遺跡
- 2 藤原寺遺跡
- 3 藤原寺遺跡
- 4 藤原寺遺跡
- 5 藤原寺遺跡
- 6 藤原寺遺跡
- 7 藤原寺遺跡
- 8 藤原寺遺跡
- 9 藤原寺遺跡
- 10 藤原寺遺跡

千曲川の両岸にはたくさんの古墳や遺跡が点在するようだ





高麦山

飯綱山

土口將軍塚古墳

条里水田址

千曲川

食料將軍塚古墳

生仁遺跡

沢山川

更埴条里水田址

北

左岸

- | | | | |
|---|-----------|--------|----------------------|
| 1 | 篠ノ井・塩崎遺跡群 | 集落遺跡 | 弥生時代から平安時代（塩崎・松節遺跡他） |
| 2 | 石川条里水田址 | 埋没水田遺跡 | 弥生時代から近世 |
| 3 | 姫塚古墳 | 前方後方墳 | 全長32m 4世紀代の築造 |
| 4 | 川柳將軍塚古墳 | 前方後円墳 | 全長93m 4世紀後半の築造 |
| 5 | 中郷古墳 | 前方後円墳 | 全長53m 5世紀代の築造 |
| 6 | 越將軍塚古墳 | 円墳 | 全長33m 5世紀中頃の築造 |

右岸

- | | | | |
|---|----------|--------|-------------------------|
| 1 | 屋代遺跡群 | 集落遺跡 | 弥生時代から平安時代（城ノ内・生仁遺跡） |
| 2 | 更埴条里水田址 | 埋没水田遺跡 | 弥生時代から近世 |
| 3 | 土口將軍塚古墳 | 前方後円墳 | 全長67m 5世紀中頃の築造 |
| 4 | 倉科將軍塚古墳 | 前方後円墳 | 全長82m 5世紀前半の築造 |
| 5 | 有明山將軍塚古墳 | 前方後円墳 | 全長36m 4世紀の終わりから5世紀始めの築造 |
| 6 | 屋代城跡 | 山城 | 屋代氏築城 16世紀の築造 |

右手下方には8号墳を含め5基の円墳が並んでいる



中央下の建物が森將軍塚古墳館



斜面下の高まりで左手が10号墳、右手は9号墳



斜面下の高まりで左手が10号墳、右手は9号墳



眼下には善光寺平が広がる









前方部方向







中央下に3号墳が見える(葺石で覆われている)



3号墳の左手前は埴輪棺



古墳を下りて見る





3号墳とその周辺

3号墳は、8世紀後半に造られた横穴式石室を設けた円墳です。このころになると、石の利用が本格化したとみえて、高床が設置されていました。

8世紀になると、この地方でも横穴式石室から、何回も埋葬することの出来る、出入りつきの横穴式石室に変わります。このころになると善光寺平では、もう

巨天宮前方後円墳は造られなくなり、その中心は伊弉谷へと移ります。それは、当時大きな政治的変動があったからだと考えられています。

大 塚 岡 古

1号墳

2号墳

3号墳

4号墳

善光寺平



組合式箱形石棺の位置



組合式石棺には、石を敷き詰めて、厚みは約10cmです。Aの部分が石室の内部で、高床が石室の奥壁に設けられています。この石室の奥壁に高床が設けられていることから、高床が設置されていたことが推定されています。



石の敷詰められた石室・高床がみつかりました。

3号墳でみつかった鉄製輪

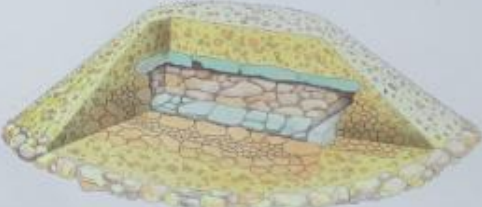
小さな石室が埋められた石室・高床がみつかりました。組合式石棺は石室の奥壁に高床がみつかりました。

高床が設置された石室



石室の奥壁に高床が設けられるのは、高床の設置が特徴です。高床の設置が特徴であることから、高床が設置されていたことが推定されています。高床の設置が特徴であることから、高床が設置されていたことが推定されています。

3号墳



森村軍塚古墳



2号墳

小円墳が



組合式箱形石棺の位置



小さなお墓が造られたころ 組合式箱形石棺64基・埴輪棺12基

大甕が運ばれて来たころ

大甕出土地

組合式箱形石棺は、石を箱形に並べて、棺としたものです。みつかったほとんどの石棺は、長軸が古墳の築線と平行に造られていることから、古墳との関係が深い入棺のお墓と考えられています。



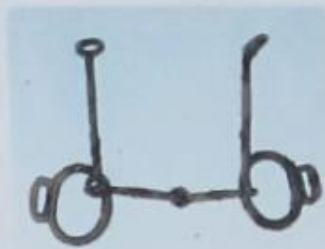
わが国で最初に須恵器が作られるのは、5世紀の初めのことです。現在の大阪府内で焼かれた大きな甕が、約500kmも遠くから当時すでに運ばれてきています。

9号墳

3号墳

14号墳

が造られたころ 13基みついています。

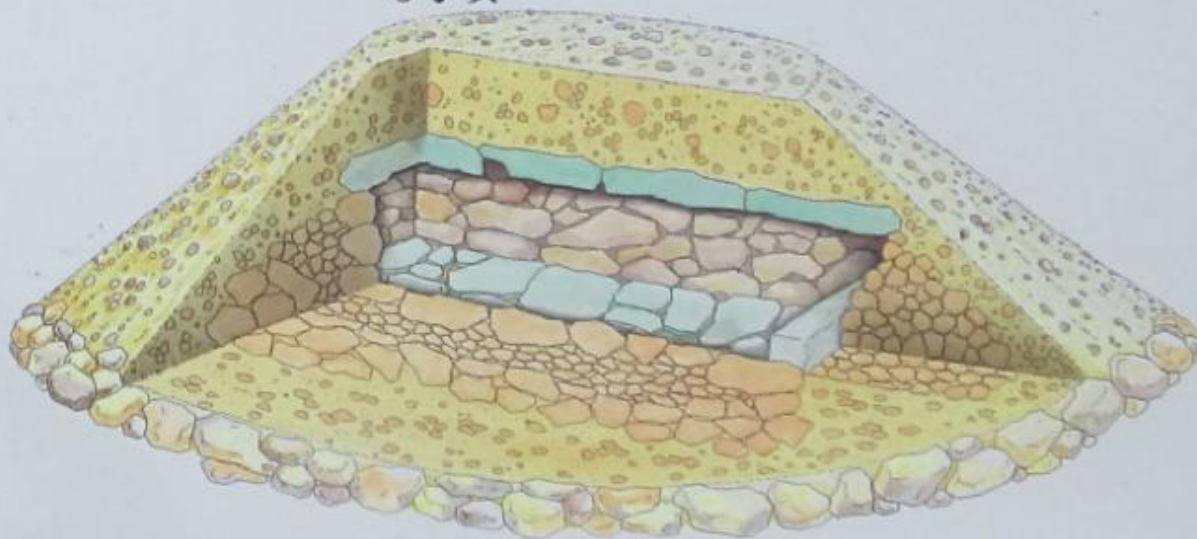


3号墳でみつかった馬具(轡)



みついています。

3号墳



3号墳/6世紀後半の築造





これは埴輪棺





左手の僅かな高まりは4号墳



斜面下の高まりで左手が10号墳、右手は9号墳



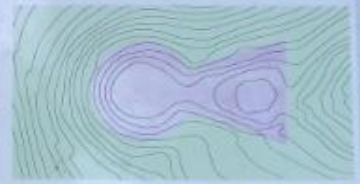
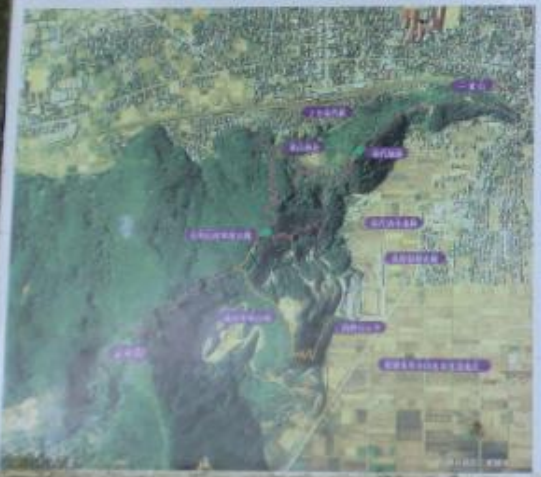


森將軍塚古墳の周辺

有明山將軍塚古墳は、どんな古墳ですか？
有明山から北西に延びる丘陵上は、8世紀の終わりから9世紀前半の前方後円墳です。このころになると、近畿地方では前方後円墳はだんだん規模が小さくなり、しばいに造られるようになります。

有明山の自然
有明山一帯は、3千数百年前に堆積した泥岩により形成され、険峻な地形を築いて現在に至りました。ニホンキヌコウネをはじめ、オオキ、アウサギなどを、たくまの昆虫や植物などを観察することができます。

この近くには他にも遺跡があります。森將軍塚古墳が造られたころのヤマト文化などの遺跡は、地下に埋もれた古墳は、今も残りの土を伴って残っています。また有明山から続く一帯には、10世紀の間に築かれた山城の歴史があります。



有明山將軍塚古墳
本図は、この遺跡の位置を示しています。8世紀の終わりから9世紀前半にかけて、畿内各地に造られた前方後円墳の一つです。



古墳時代の水路(前代清水道跡)
古墳時代の水田(前代道跡群)



この遺跡は、8世紀後半から9世紀前半にかけて造られた古墳です。本図は、この遺跡の位置を示しています。また、この遺跡の周辺には、古墳時代の水路や水田の跡があります。

科野のクニ

この地域は古くから、大規模な集落を築き、農業や漁業で栄え、古くから「科野のクニ」として知られていました。この地域には、古くから「科野のクニ」として知られていました。

この地域は、古くから大規模な集落を築き、農業や漁業で栄え、古くから「科野のクニ」として知られていました。

この地域は古くから大規模な集落を築き、農業や漁業で栄え、古くから「科野のクニ」として知られていました。

- 縄文時代
- 弥生時代
- 古墳時代
- 奈良時代
- 平安時代
- 鎌倉時代
- 室町時代
- 江戸時代
- 明治時代
- 戦後
- 現代

縄文時代

弥生時代

古墳時代

奈良時代

平安時代

鎌倉時代

室町時代

江戸時代

明治時代

戦後

現代

縄文時代の遺跡は、この地域に多く見られます。その中でも、「科野のクニ」の中心地として知られています。

弥生時代の遺跡は、この地域に多く見られます。その中でも、「科野のクニ」の中心地として知られています。

古墳時代の遺跡は、この地域に多く見られます。その中でも、「科野のクニ」の中心地として知られています。

奈良時代の遺跡は、この地域に多く見られます。その中でも、「科野のクニ」の中心地として知られています。

平安時代の遺跡は、この地域に多く見られます。その中でも、「科野のクニ」の中心地として知られています。

鎌倉時代の遺跡は、この地域に多く見られます。その中でも、「科野のクニ」の中心地として知られています。

室町時代の遺跡は、この地域に多く見られます。その中でも、「科野のクニ」の中心地として知られています。

江戸時代の遺跡は、この地域に多く見られます。その中でも、「科野のクニ」の中心地として知られています。

明治時代の遺跡は、この地域に多く見られます。その中でも、「科野のクニ」の中心地として知られています。

戦後の遺跡は、この地域に多く見られます。その中でも、「科野のクニ」の中心地として知られています。

現代の遺跡は、この地域に多く見られます。その中でも、「科野のクニ」の中心地として知られています。



この地域は、古くから大規模な集落を築き、農業や漁業で栄え、古くから「科野のクニ」として知られていました。

この地域は、古くから大規模な集落を築き、農業や漁業で栄え、古くから「科野のクニ」として知られていました。

この地域は、古くから大規模な集落を築き、農業や漁業で栄え、古くから「科野のクニ」として知られていました。

古墳の構造と修理

古墳は、その土に造られていくのです。土は、人の手によって、古墳に造られる。土は、人の手によって、古墳に造られる。土は、人の手によって、古墳に造られる。

墳墓の土は、古墳に造られる。土は、人の手によって、古墳に造られる。土は、人の手によって、古墳に造られる。

古墳に造られる土は、古墳に造られる。土は、人の手によって、古墳に造られる。土は、人の手によって、古墳に造られる。



古墳の構造は、土に造られる。土は、人の手によって、古墳に造られる。土は、人の手によって、古墳に造られる。



古墳の土は、古墳に造られる。土は、人の手によって、古墳に造られる。土は、人の手によって、古墳に造られる。



古墳の土は、古墳に造られる。土は、人の手によって、古墳に造られる。土は、人の手によって、古墳に造られる。

参考ホームページ

<http://www.city.chikuma.nagano.jp/app/kofun/main/Kofun.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/nagano/tikuma/mori.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/nagano/tikuma/mori040910.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/nagano/tikuma/mori1112.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/nagano/tikuma/mori2.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/nagano/tikuma/mori3.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/nagano/tikuma/mori0614.html>

<http://mapbinder.com/Map/Japan/Nagano/Chikumashi/Mori/Mori.html>

<http://www.geocities.jp/kraumjp/rekishisannpomorishougunnzukakofunnnewpage1.html>

http://inoues.net/ruins/mori_shogun.html

<http://mapbinder.com/Map/Japan/Nagano/Chikumashi/Kofunkan/Kofunkan.html>



インターネットより